

CLASSROOM OF THE LIFE

いのちの教室

人と動物のより良い暮らしを
考えてみよう！



人と動物の より良い関係を 考えてみよう

犬が好き

猫が好き

いろんな人がいて

いろんな動物がいるけれど

みんな同じ地球の上で生きている

同じ空の下で

同じ大地を踏みしめて

同じ水を飲んで生きている

人と動物のより良い関係を考えることは

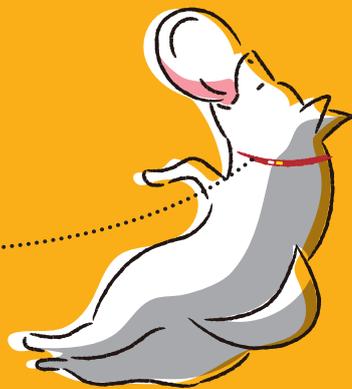
より良い環境を考えること

命の大切さを考えること

人として生きる意味を考えること

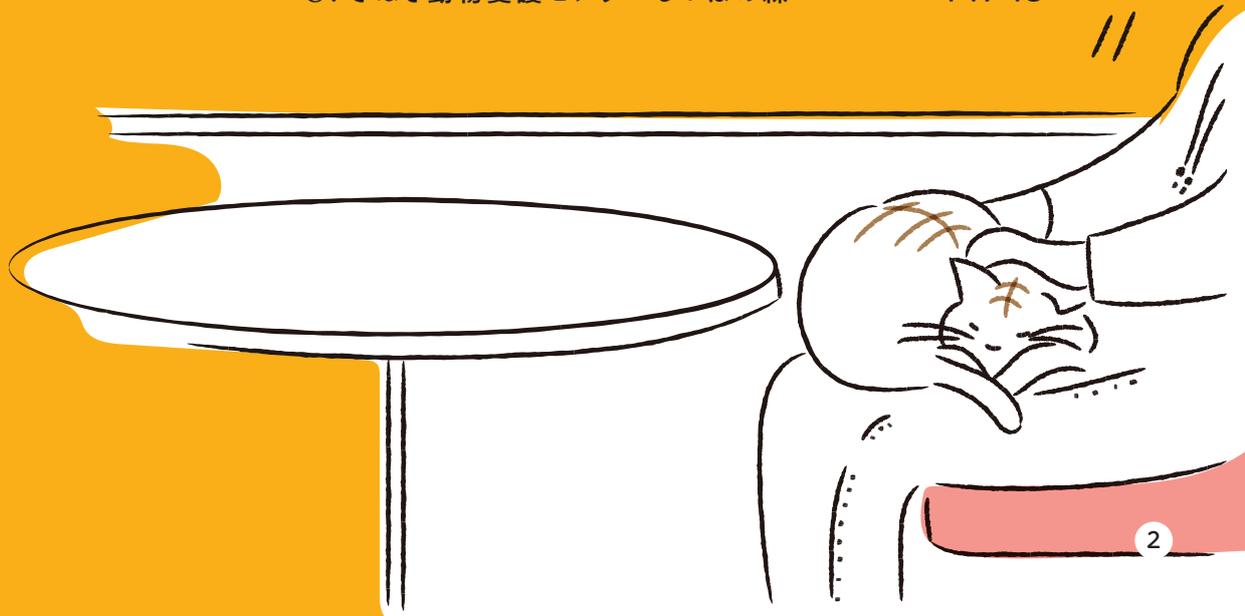
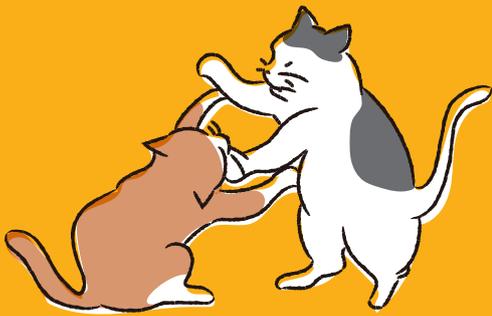
より良い未来をつくること

そう信じて、大切なあなたに、この冊子を贈ります。





1. 人と動物 いのちを支え合う……………P3-4
2. 共に生きる……………P5-6
3. 人と動物の関係 現在の動物事情……………P7-8
4. ペットの運命……………P9-10
5. ペットの運命 香川県のケース……………P11-12
6. 命を守るためにできること……………P13-14
7. 人と動物との調和のとれた共生社会をめざして……P15-16
8. さぬき動物愛護センターしっぽの森……………P17-18



人と動物 いのちを支え合う

● 日本史でたどる人の暮らしと動物

人類誕生から現在まで、人は動物と深く関わってきました。その関係は一度も途切れることなく続いています。動物という存在があってこそ、人は命をつなぎ、進化してきたのかもしれませんが。時代の変遷と共に、人と動物の関係も変化してきました。例えば、縄文時代と現在では、その関わり方も大きく変わっています。

時に、愛玩される存在、または宗教的な存在として重用される一方、労働を担う存在であり、食用として捕獲・飼育される存在であった動物たち。

まずは、人の暮らしと動物の関係を時代と共にとどめてみましょう。

縄文時代

- 縄文人はイノシシ、シカ、クマ、カモ、クジラなどを食用としていた。
- 動物の骨や角、牙で作った「骨角器」という道具が見つかっている。



弥生～古墳時代



- ブタ、ウマ、ウシ、ニワトリなどを飼育し始める。食用にするほか、農耕にも利用する。
- 鳥の木製品なども登場する。
- 古墳時代には権力の象徴として、犬、ウマ、ニワトリなどの埴輪が置かれた。

飛鳥～奈良時代

- 仏教の伝来で殺生や肉食を罪悪と考えるようになる。ウマやウシは主に荷役や農耕に使われる。
- 律令制度のもと、国の機関として、「鷹狩り」用のタカや獵犬の調教を行う役職や、交通手段としてウマを管理する制度ができる。



平安時代



- 貴族社会の行事や儀式でウマ、ウシ、タカなどが活躍する。
- 猫やクジャク、オウムなどが海外から入ってきて、王侯貴族に飼われていた。「枕草子」には、宮中で飼われている犬や猫の描写が出てくる。

明治・大正・昭和・平成・令和

江戸時代

鎌倉・室町・安土桃山

- 武士が勢力を伸ばすのにつれて、軍馬の役割が大きくなる。織田信長が行なった「馬揃え」という行事では、全国から500頭以上のウマが集められた。
- 猫はネズミをとる益獣として、大切にされていた。



- 犬や猫だけでなく小鳥や金魚などを飼うことが盛んになる。
- 徳川綱吉が犬や猫など多くの動物を保護する「生類憐みの令」を出す。
- クマやイノシシなどを鉄砲で狩猟するようになる。



- 西洋から肉食文化が入ってくる。
- 農業の機械化が進み、ウシやウマの利用が衰退する。
- 肉や乳製品のため産業動物の飼育が盛んになる。
- 日本初の動物園として「上野動物園」が開園(1882年)。
- 日本でも医学の進歩のため動物実験が始まる。
- 映画やテレビで活躍する動物が登場する。
- ペット産業が盛んになる。



[主な参考文献]
 資料 日本動物史 梶島孝雄著 / 八坂書房
 日本人と動物の歴史 ①家畜 小宮輝之著 / ゆまに書房
 日本人と動物の歴史 ②野生動物 小宮輝之著 / ゆまに書房
 日本人と動物の歴史 ③鳥 小宮輝之著 / ゆまに書房
 人と動物の日本史 ①動物の考古学 西本豊弘編 / 吉川弘文館
 人と動物の日本史 ②歴史のなかの動物たち 中澤克昭編 / 吉川弘文館

いのちの教室トークテーマ

その1

「いのちへの感謝」

長い歴史のなかで、動物はさまざまな形で人を助けてくれました。わたしたちは動物の命に支えられて生きています。「いのちへの感謝」をテーマに話し合ってみましょう。

.....

.....

.....

.....



2 共に生きる

人がかわいがることを目的として飼育するペットは、愛玩動物や人生を共に生きる**伴侶動物**ともいわれ、英語ではcompanion animal (コンパニオンアニマル) とも呼ばれます。その歴史は深く、猫は古代エジプトの時代からペットのように飼われ、ネズミの駆除にも活躍していました。

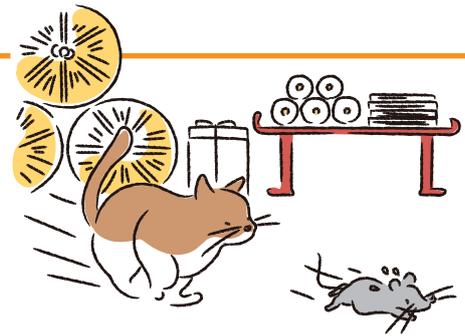
犬も古代から家族の一員のように扱われ、縄文時代の犬の墓も発見されています。

● わたしたちと猫

中国からやってきた飼い猫

日本では、飼い猫が定着したのは奈良時代以降と考えられます。穀物や経典などをネズミの被害から守るため、中国からやってきたと伝わっています。平安時代には朝廷から位を授けられた猫もいたとか。「ネコ」という呼び名が登場したのも平安時代です。

ネズミをとる猫は、人にとって役立つ生き物であり、貴重な愛玩動物として歴史を重ねてきました。やがて江戸時代になると、^{かいこ}蚕を飼う農家が増え、その蚕をネズミから守るために猫は高値で取り引きされました。



猫が暮らす風景

近年では、私鉄の駅長として猫が話題になり、猫のテレビ番組が登場するなど、空前の猫ブームともいわれています。「シマネコ」と呼ばれ、香川県でも島々に暮らす猫が注目されました。招き猫のように、地域に人々を招く猫もいるようです。テレビ番組や写真などで、猫が人の暮らしの身近にいる風景が取り上げられています。



▲香川県・佐柳島で暮らす猫

猫も巻き込まれる交通事故

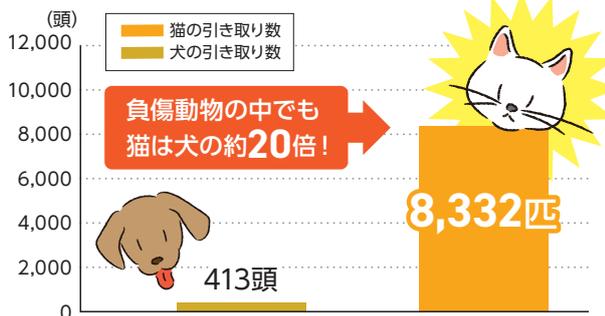
猫はその昔から、室内などで大切に飼われてきました。猫は**屋外**で飼う人も少なくありませんが、^{ぶん}糞尿や鳴き声など**近所の迷惑**になり、病気になる可能性もあります。また、現代では**交通事故に遭う危険性が高くなりました**。負傷して引き取られ殺処分される猫も少なくありません。その数は正確に把握できていませんが、路上で死亡する猫の数も非常に多く、殺処分数を上回ると推測されています。

■ 犬猫死骸処理件数



交通事故などによる
犬猫死骸処理件数は
年間**約20,300件**
(国管理の国道)

■ 令和5年度 負傷動物等データ



出典:環境省 統計資料
「犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況(令和5年度)」
国土交通省 道路局
「動物死骸処理件数(直轄国道分)(令和4年度)」から概算

● わたしたちと犬

ヤマイヌとイエイヌ

犬はラテン語では「家庭に属する」という意味があり、古代日本ではオオカミのヤマイヌに対し「イエイヌ」と呼ばれていました。「イエイヌ」は人の手によって作り出された動物で、最も古く家畜化されたといわれています。

日本では縄文時代の遺跡から埋葬された犬の骨が出土し、すでに大切に扱われていたことがわかります。

猟犬や番犬として、人の役に立ってきた記録も残っています。聖徳太子も利口な犬を飼っていたという伝説があり、香川県では弘法大師が唐から連れてきたという犬の墓もあります。

戦国時代になると、海外から洋犬がやってくるようになり、将軍や大名は権力の象徴として大型犬を飼うようになりました。



狂犬病の流行と予防法

江戸時代以降は、**狂犬病**が全国に広がり、大流行した時期が幾度かありました。死者が多数出たことから、撲殺された犬も相当数いたといわれています。

そこで、明治時代には狂犬病を予防するために国を挙げて対策を行うようになりました。明治末期には犬の集団予防接種が始まり効果を見せ始めましたが、大正時代に起こった関東大震災の混乱で再び増加。1922年（大正11年）には家畜伝染病予防法が制定され、犬ばかりでなく狂犬病を発病した全ての家畜の殺処分が定められました。

そして、1950年（昭和25年）に狂犬病予防のための厳密な法律「**狂犬病予防法**」が施行され、**犬の登録、年に1回の予防注射**、野犬などを捕獲することが徹底されるようになると、わずか7年という短期間のうちに国内では狂犬病を撲滅することができました。

狂犬病とは

.....
感染した動物にかまれ、発症すると死亡率ほぼ100%といわれる怖い病気です。現在の日本では、犬への予防注射により狂犬病の発症はありませんが、海外で感染し帰国後に発症、死亡した例は報告されています。世界には、まだ多くの狂犬病発生地域があります。万が一、日本に狂犬病が侵入した場合、予防注射をしていない犬を介してヒトに狂犬病が感染する可能性があるのです。ちなみにアジアでは、犬にかまれたことによる感染報告が多数あります。

いのちの教室トークテーマ

その2

「ペットについて」

みなさんの家や周囲にいる犬や猫について、話し合ってみましょう。

あなたにとって**犬や猫はどんな存在**ですか？**どんな暮らし**をしていますか？

.....
.....
.....
.....



3

人と動物の関係 現在の動物事情

● 現代のペット事情

人もペットも高齢化社会

核家族化・少子化が進む現代社会では、ペットは大切な家族として人々の心の支えとなる存在です。その反面、飼い主とペットの高齢化の問題も出てきました。

一見、ペットブームで犬や猫の飼育数は増えているように見えますが、実は犬の飼育頭数は減少傾向にあります。では、なぜ犬を飼う数が減ったのでしょうか？犬も高齢化が進み、寿命を迎える犬が少なくありません。**人も犬も超高齢化時代**を迎え、新たな犬を飼えない現状があるのです。

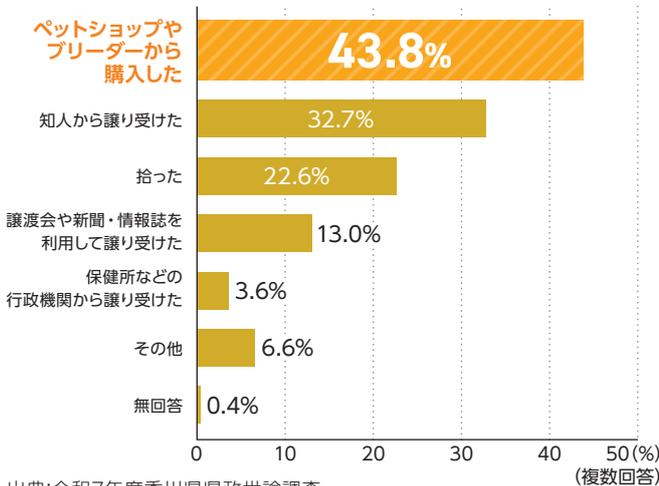
■ 犬の飼育頭数



出典:一般社団法人 ペットフード協会
令和7年(2025年) 全国犬猫飼育実態調査※
※2021年より推計の計算式を改定している。

動物取扱業者のモラル

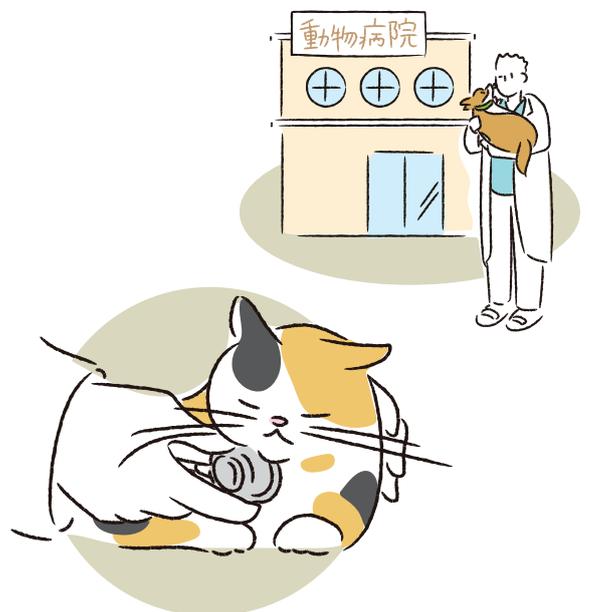
■ ペットの入手方法



現在では、動物の入手先としてペットショップなどの**動物取扱業者が4割以上**を占めています。ところが、なかには不適切な飼育管理を行う業者も出てきたことから、平成24年、令和元年の動物愛護管理法改正により、動物取扱業者に対する規制が強化されました。動物取扱業者は、飼い主の模範となるような飼い方をすることが求められています。

ペットのホームドクター

ペットも人と同じようにかかりつけ医、**ホームドクター**を持つことも大切です。特にペットの体調に異変を感じた場合、ホームドクターは頼もしい存在になります。信頼できる近所の獣医師さんに出会えることは、ペットにとっても幸せなことです。



● さまざまな環境の動物たち

野生動物、人に役立つ動物

ペットに限らず、いろいろな環境でいろいろな動物が暮らしています。「野生動物」は人に養われていない動物のことですが、人の手で積極的に環境を守ることも必要になってきました。人間社会が環境を脅かすことで、人の生活圏に入り害獣になるケースが増えているのです。

香川県でも、**イノシシやシカ、サル**などによる被害が発生しています。また、人に飼われていた動物が、野生化してしまうケースもあります。野生動物にエサを与えることは、被害を増やしたり生態系を乱すことにつながるのです。絶対にしてはいけません。また、駆除するだけでも問題は解決しません。



「産業動物」は、牛や豚、馬など経済行為として飼われる動物の総称です。食生活を中心にわたしたちの暮らしを支えています。また、化粧品・医薬品・食品添加物・農薬などの日用品の試験、企業・学校での研究など、さまざまな場面で実験に使われる「実験動物」の存在もあります。



動物福祉(アニマルウェルフェア)

「動物福祉」とは、全ての動物が精神的・肉体的に充分健康で、幸福であり、環境とも調和していることです。人に飼われている動物たちは、自分自身で幸福感を充たすことはできません。人間には、動物たちが幸せに生活できるように世話をしあける**義務と責任**があります。

いのちの教室トークテーマ

その3

「人と動物の関係」

現代社会に生きる人と動物の問題を
話し合ってみましょう。

人と動物の共生できる社会を目指して

現場の声 vol.1



香川県動物愛護推進懇談会委員
動物看護系専門学校 課長
林 勇樹さん

このパンフレットにもあるような野生動物による被害の様子をメディアなどで知る機会があると思います。農作物への被害だけに留まらず、住宅地に出没するクマといったニュースもあり、近くで起きたらと考えると非常に怖いですね。

ただ、これは動物たちが自分たちの生活を守るための最後の手段だったりもします。寒い冬を乗り越えるために栄養を蓄える必要があるのに、その食べ物が無い。結果として、動物にとって危険な人里へ現れて食べ物を探す。このことが人への被害になるといった流れです。

この悪循環を止めるためには、動物たちの生活を守ることが重要です。人が住みやすい環境ばかりを重視するのではなく、人と動物が共に暮らす環境を考えることが、野生動物を守り、人の生活を守ることに繋がります。

そのためにも、まずは身近な動物に目を向けることから始めてみてください。動物との共生を考えるきっかけになるとと思います。

4

ペットの運命

● 愛されるペット・捨てられるペット

みなさんの家庭ではペットを飼っていますか。家族全員が犬や猫が大好きで、とても大切にしているという人も大勢いることでしょう。

一方、公園や畑などで首輪もなく、やせ細っている犬や、人になつかず逃げ回っている猫を見たこともあるでしょう。そうした犬や猫は、人にかみついたり、ひっかいたりする恐れがあります。また、人と動物に共通する感染症を持っていることも多く、人に感染して深刻な症状を引き起こすこともあります。ときには、鳴き声や糞の被害に悩まされることもあり、群れになった犬が子どもたちを襲うという事件も発生しています。

犬や猫の歴史を学んでわかったように、本来はペットとして飼われるべき犬や猫たちが、**人の身勝手な事情など**により捨てられ、**人間社会にとって害をなす動物**となってしまったのです。



野良犬・野良猫にさせないために

現場の声 vol.2



香川県中讃保健福祉事務所
衛生課 主任
野村 竜也さん

皆さんは野良犬や野良猫を見たことがありますか。

野良犬や野良猫は、病気にかかりやすい、事故にあいやすい、予防や治療といった健康管理ができないといった厳しい環境の中で生活していて、飼い犬や飼い猫に比べると寿命が短いと言われています。

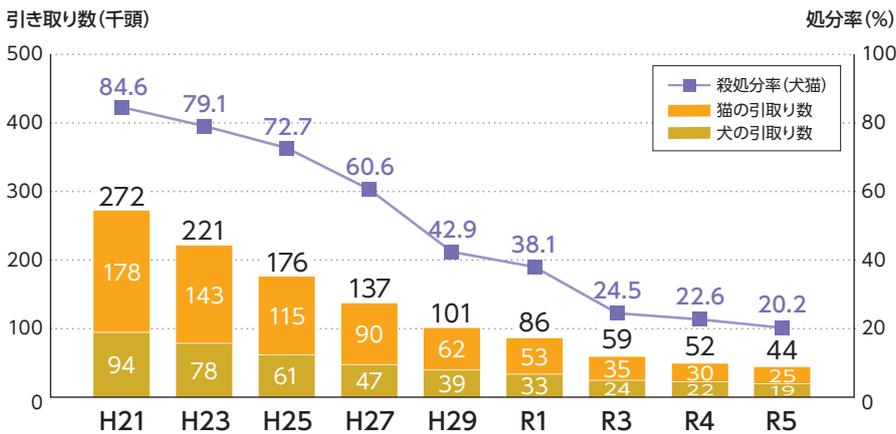
香川県で収容されている犬猫のほとんどは、こうした野良犬・野良猫です。厳しい環境の中で生活していたために、病気を抱えていて、収容中に亡くなってしまう動物も少なくありません。また、人なれしていないために、新しい飼い主を見つけられず、殺処分になってしまうこともあります。その他にも、交通事故などによって命を落としてしまう野良犬や野良猫が、多く存在します。

皆さんが飼っている犬猫や、これから飼うかもしれない犬猫を野良犬・野良猫にさせないために、迷子にならないように放し飼いにしないこと、迷子になって帰れるよう迷子札やマイクロチップ等を装着させて飼い主がわかるようにすること、捨てずに最後まで責任をもって飼うことが大切です。

● 法律で決められている犬猫の引取り

国では人と動物が共に生きていける社会を目指し、「動物愛護管理法」を定めています。この法律では、飼い主がいない、あるいは飼い主などから引取りを求められた犬や猫は、原則として、行政が引き取らなければならないと定められています。(ただし、引取りを求める相当の事由がないと認められる場合は、その引取りを拒否することができます。) 引き取られた犬や猫は、攻撃性が高く譲渡できない、元の飼い主や引き取り手が見つからないなどといった場合、殺処分されることになります。そこで、殺処分される数をできる限り減らしたいと、全国の自治体では努力を続けています。

■ 全国の犬猫を行政機関が引き取った数の移り変わり



▲徘徊する野犬

引き取られた犬猫の数

合計**44,576**頭

飼い主のもとに
返った数が...

7,607頭



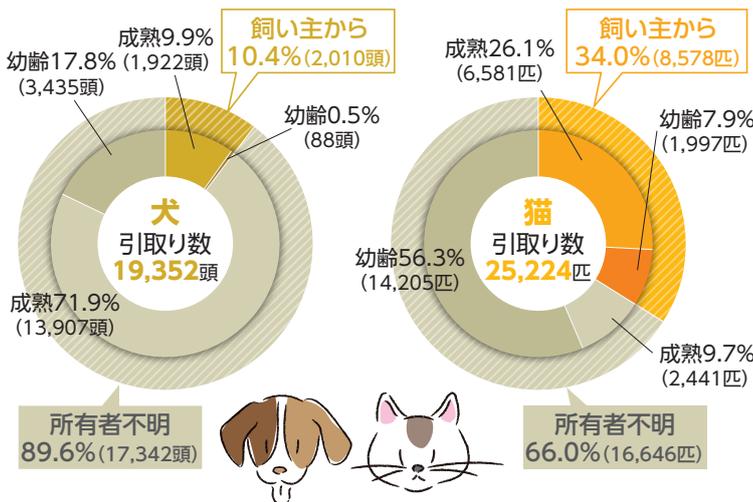
新しい飼い主に
譲渡された数が...

28,157頭



引き取り手がなく
殺処分された数が...

9,017頭



出典:環境省 統計資料「犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況(令和5年度)」※負傷動物等は除く

犬猫が 引き取られた数

令和5年度の統計資料を見ると、犬が19,352頭、猫が25,224匹、合計44,576頭もの犬や猫が保健所などに引き取られています。その内、飼い主のもとに返った数が7,607頭、新しい飼い主に譲渡された数が28,157頭、元の飼い主が見つからない、引き取り手がないなどの理由で殺処分された数が9,017頭。その中には、幼い犬や猫も含まれています。

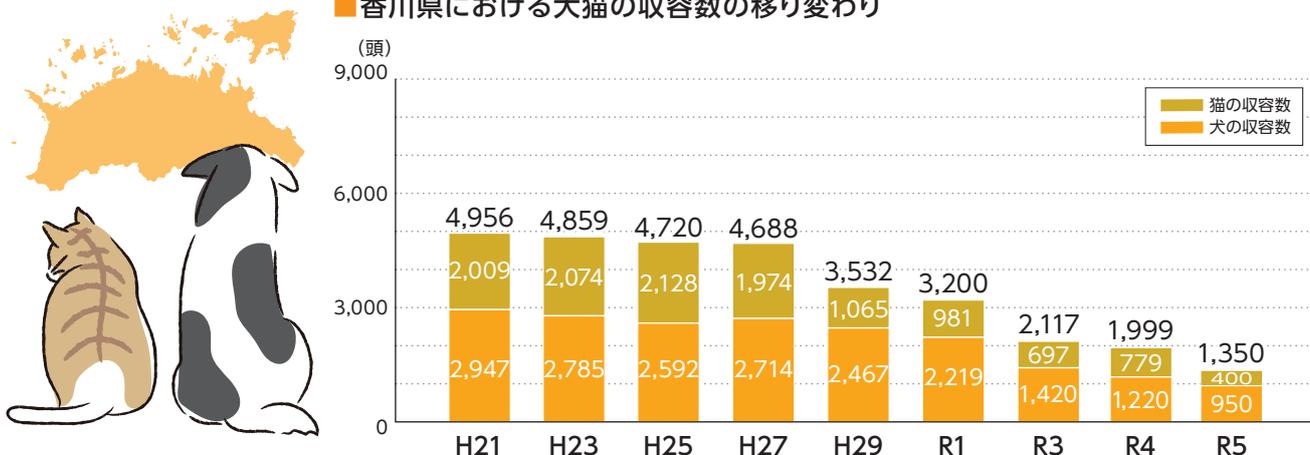
5

ペットの運命 香川県のケース

香川県における令和5年度の統計を見ると、犬の収容数950頭、そのうち、259頭もの犬が殺処分されました。殺処分率は27.3%であり、以前より改善傾向ではあるものの、他の県と比べると高い水準であることがわかります。収容した犬のうち、殺処分されてしまう犬の割合が高いという不名誉な結果です。

猫の場合は、収容数400匹、殺処分数185匹であり、殺処分率は46.3%で全国平均を上回っています。

■香川県における犬猫の収容数の移り変わり



香川県が収容した犬猫の数

合計 **1,350頭**

犬の
収容数**950頭**
全国**3位**
ワースト

猫の
収容数**400匹**
全国**36位**
ワースト

そのうち **殺処分された犬猫は444頭**

犬の殺処分率 **殺処分数259頭**

27.3% → 全国平均11.3%
ワースト **5位**

犬猫を合わせて
〈殺処分率**32.9%**〉
全国**16位**
ワースト

猫の殺処分率 **殺処分数185匹**

46.3% → 全国平均34.5%
ワースト **12位**

出典:環境省 統計資料「動物愛護管理行政事務提要(令和6年度版)」※負傷動物等を含む

香川県は、温暖な気候で冬を越しやすく、^か住み処となる山野と人家が近い^かためエサの確保も容易であり、捨てられた犬や猫が過ごしやすい上に、無責任なエサやり行為が行われています。野生のまま子犬や子猫が増え続ける現状があり、関係者は頭を悩ませています。

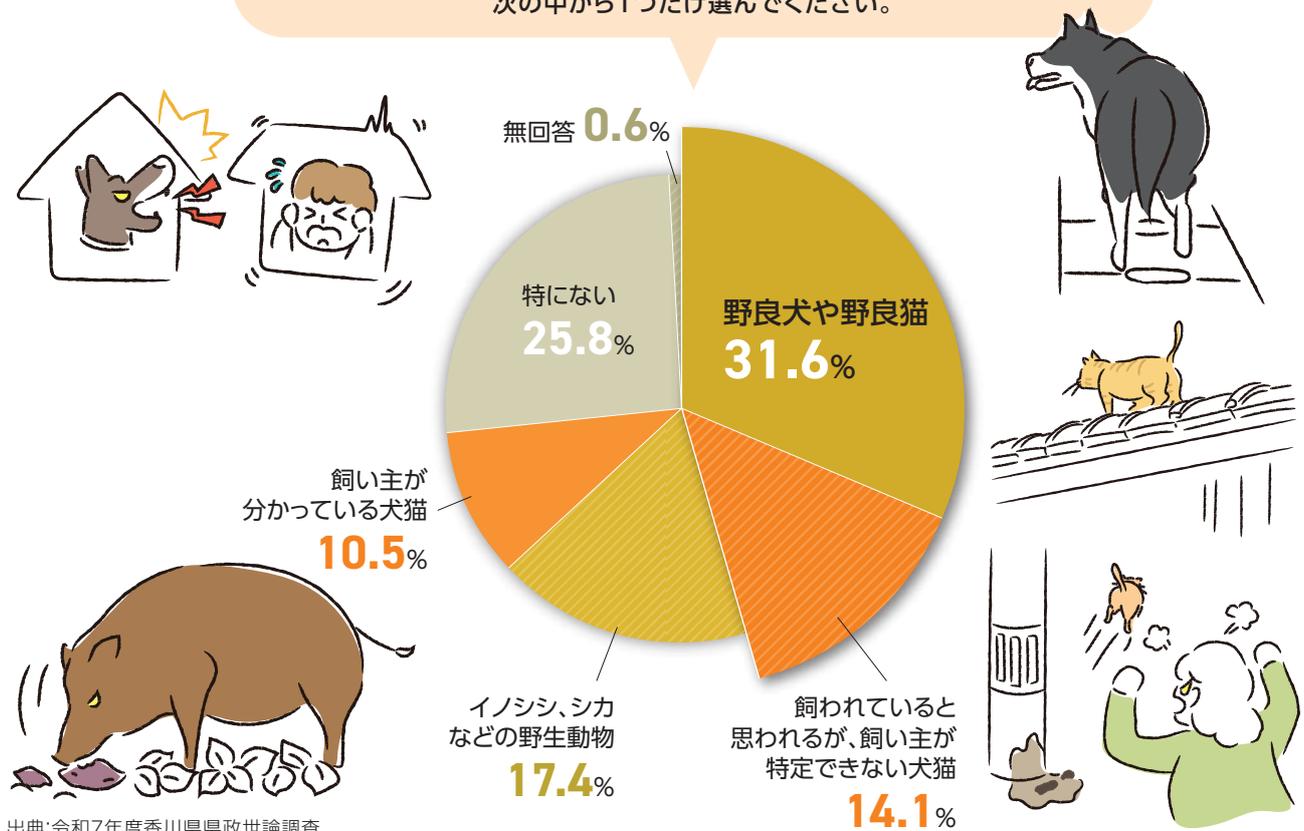


● ペットを管理する責任

動物愛護と管理について、香川県民にアンケートをとったところ、「野良犬や野良猫を迷惑だと感じている」という声が回答者全体の31.6%ありました。また、「飼われていると思われるが、飼い主が特定できない犬猫が迷惑」という声も14.1%ありました。合わせると、アンケートに答えてくれたおおよそ半数が管理されていない犬や猫に迷惑をかけられているということになります。

■ 動物のことで迷惑を感じたことについてのアンケート結果

動物のことで迷惑を感じたことがありますか。それはどんな動物からですか。次の中から1つだけ選んでください。



出典:令和7年度香川県県政世論調査

野良犬・野良猫や放し飼いの犬猫は、糞尿や鳴き声はもちろん、ときには飼^{ふん}い犬や飼^{ふん}い猫、さらには人に対しても危険を及ぼすことがあります。犬や猫は人が適正に管理すべき動物であること、ペットは飼^{ふん}い主に管理する責任があることを忘れないようにしましょう。

いのちの教室トークテーマ

その4

「香川県の犬猫の現状」

香川県の犬猫の収容、殺処分の現状を見て、感想を話し合しましょう。

.....

.....

.....

.....



6

命を守るためにできること

香川県では、収容される犬や猫の数も多く、そのうち引き取り手がなく殺処分される命も多くあることがわかりました。それでは、**大切な命を守るためにわたしたちができること**を考えてみましょう。まず、ポイントは2つ。

飼い主のいない犬や猫を減らす

責任を持って飼える飼い主を増やす

この二つを実現すれば、多くの命を救うことができます。

飼い主のいない犬や猫を減らすために、ペットを飼っている人ができることは、きちんと管理して、**最後まで責任を持って飼う**ということです。具体的には次の4つになります。



捨てない

転勤や進学などで生活環境が変わることもあります。飼う前に最後まで飼えるか考えましょう。万が一、自分が飼えなくなったとき、家族や親戚、知り合いの人にちゃんと後を頼めるよう考えておきましょう。犬や猫を捨てることは、法律に違反する「犯罪」です。1年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられます。



迷子札などをつける

迷子になったまま家に帰れず亡くなってしまうこともあります。迷子札や犬の鑑札をつける。最近ではマイクロチップを埋め込むのが安心です。

突然の災害や事故、盗難に遭うことも考えられます。そんなときに、**マイクロチップ**は確実な身元証明になります。



マイクロチップとは

マイクロチップは、直径2mm、長さ約8~12mmの円筒形の電子標識器具です。世界で唯一の15桁の数字(番号)が記録されており、この番号を専用のリーダー(読取器)で読み取ることができます。

動物の安全で確実な個体識別(身元証明)の方法として、ヨーロッパやアメリカをはじめ、世界中で広く使われています。

動物愛護管理法では、犬や猫などの動物の所有者は、自分の所有であることを明らかにするために、所有明示を実施するよう定められています。また、犬猫等販売業者は、令和4年6月以降マイクロチップの埋め込みが義務づけられており、それ以外の犬や猫の所有者についても、装着するよう努めなければならないとされています。





犬や猫の「命を守るためにできること」

現場の声 vol.3



香川県獣医師会
小動物臨床部会 会長
麻野 良太郎さん

獣医さんというと、動物病院で犬や猫を診る「ペットのお医者さん」を思い浮かべる人が多いと思います。けれど、獣医師の仕事はとても広く、牛や豚、鶏、馬、魚、ミツバチ等の健康を守る仕事から、空港での検疫まで、私たちの生活を支える多くの場所で活躍しています。

その中で「命を守るためにできること」は何かと聞かれると、すぐに答えるのは難しいかもしれませんが。私が大切だと思うのは、まず『感謝すること』です。私たちが毎日食べている肉や魚、野菜、乳製品は、もとはすべて命あるものからいただいています。つい当たり前前に感じてしまいが、改めて感謝すると、命の重さに気づくことができます。

家で一緒に暮らす犬や猫にも、「一緒にいてくれてありがとう」「うちに来てくれてありがとう」と感謝してみてください。きっと、言葉にできない小さなサインにも気づけるようになるはずです。

感謝の気持ちがあれば、そこから優しさや思いやりが生まれます。一人ひとりが少しでも命に感謝し、やさしい気持ちで過ごせる社会になることを願っています。



むやみに繁殖させない

犬や猫は一年もたたないうちに子犬や子猫を産める体になります。その上、1回の出産でたくさんの子を産みます。全ての子犬・子猫の面倒を見ることは不可能です。早めに動物病院で不妊去勢手術をしましょう。市町によっては手術費用の助成を行っているところがあります。

※犬は、早ければ生後6か月で子犬を産める体になります。また、年に2回発情期があり、1回に3～10頭もの子犬を産みます。
※猫は、早ければ生後4か月で子猫を産める体になります。また、年に2～4回発情期があり、1回に4～8匹もの子猫を産みます。



きちんとしつけをする

犬や猫は大きくなります。しつけができていないと他人をかんで傷つけてしまったり、鳴き声で近所迷惑になってしまいます。トイレトレーニングや無駄ぼえをしないなど、きちんとしつけてあげましょう。



いのちの教室トークテーマ その5

「大切な命を守るために」

犬や猫の「命を守るために」、わたしが
今日からできることを考えてみましょう。

.....
.....
.....
.....
.....



7 人と動物との調和のとれた共生社会をめざして

いろいろな環境で、さまざまな動物が生きています。それらの動物と人が調和のとれた共生社会で生きていけるよう香川県では、「**香川県動物愛護管理推進計画**」を立てました。これは、動物の愛護および管理に関する法律第6条に基づき、香川県が市町、関係団体等と連携し、県民の方々と一緒に取り組むべき、具体的な計画です。

この計画では、「**動物は家族の一員**」「**動物は地域の一員**」という考えを大切にしています。

それぞれの立場、それぞれの考え方がありますが、自分が果たすべき動物愛護について考えてみましょう。

🐾 動物は**家族**の一員

よく考えずに動物を飼うことはやめましょう。

飼い始めたら、最後まで責任を持って飼いましょう。

野生動物に、安易に接するのも問題です。

飼い主は法令を守り、動物への責任と自覚を持つことが大切です。犬の登録および狂犬病予防注射、つないでおくなどの義務や、猫を屋内で飼うなど、社会のルール、マナーを守りましょう。特定動物の飼い主は法律を守り、危害や迷惑の防止を徹底しましょう。

みだりに繁殖させない

みだりな繁殖を防止するため、不妊去勢措置を行いましょう。

動物の遺棄・虐待の防止

命ある動物は最後まで責任を持って飼いましょう。愛護動物のみだりな殺傷・遺棄・虐待について罰則が強化されています。動物のみだりな殺傷・遺棄・虐待は法律違反です。

🐾 動物は**地域**の一員

自分のペット以外は安易にエサをやらない

飼い主のいない犬や猫、野生動物への安易な餌付けは、農作物の被害や周囲への危害発生などさまざまな問題を生みます。地域の迷惑問題を解決するには、住民がそれぞれの立場を理解して、地域の実情に合ったルールを作り、実行することが必要です。

動物は適正に取り扱う

動物取扱業者は、動物の適正な飼養を社会全体に広め定着させることに対して、動物の取扱いのプロフェッショナルとしての役割と責任があります。動物取扱業者が動物の飼養に関して県民の手本となり、飼い主の相談窓口の一つとして、その役割と責任が担えるよう努力する必要があります。また、動物愛護管理法改正の趣旨を踏まえて、犬猫等販売業者および特定動物を取り扱う動物取扱業者は、より厳格に法令を守ることが求められています。

「産業動物の飼養および保管に関する基準」や「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」など、産業動物に起因する感染症の疾病予防など、産業動物の適正な取扱いや、施設の管理が求められています。

災害時における産業動物の取扱いについても考えておく必要があります。

実験動物については、「**3Rの原則**」により、適正に管理することが求められています。





人と動物との 調和のとれた共生社会へ...



こたえはひとつではありません
人と動物たちが共に生きるための社会をつくるために
わたしたちができることから
一つ一つ実行していきましょう



新しく正しい知識を身につけて

現場の声 vol.4



香川県動物愛護推進員
藤澤 智恵美さん

平成15年度から動物愛護推進員の活動を行っています。個人的には愛玩動物飼養管理士の上級資格を取得するなど、県外にまで足を伸ばして動物愛護について勉強しました。さまざまな団体のお話も伺ってききましたが、大切なのは香川県の実情に沿った問題解決だと気づきました。香川県では、何十年前と変わらない外飼い、放し飼いの考えを持つ方もまだまだ多くいます。法律で決められた狂犬病の予防注射でさえ、守れない飼い主さんもいます。みなさんの年齢ならば新しく正しい知識をどんどん吸収できますので、動物愛護について知ったこと分かったことを、家族のみなさんにも必ず伝えてください。ひとりひとりの意識が変わることで、初めて人と動物が快適に暮らせる香川が実現します。みなさんは、その大切な一歩を踏み出してください。そのために、私たち動物愛護推進員も地道な活動を続けています。

いのちの教室トークテーマ

その6

「人と動物との共生社会を考えよう」

「人と動物との共生社会」のために、自分たちができるところを確認し、実行しましょう。

.....

.....

.....

.....



● 「しっぽの森」が誕生しました

香川県では犬や猫の収容数や殺処分率が高いことを示してきましたが、こうした状況を改善するために、平成31年春、待望の**さぬき動物愛護センター**が、高松市東植田町にオープンしました。このセンターは、香川県と高松市が共同で整備した、犬や猫の譲渡を推進し、動物愛護の普及や啓発などを行う拠点施設です。人と動物が共生し、幸せに暮らすことができる社会の実現を目指して、さまざまな取り組みを行っています。



● 誰もが気軽に利用できます

さぬき動物愛護センターの愛称は「**しっぽの森**」。犬や猫の愛らしさの象徴として「しっぽ」、動物たちの生活の原点として「森」を盛り込んだ親しみやすいネーミングです。香川県公測森林公園の隣にあり、気軽に訪れることができます。

「しっぽの森」では、犬や猫を飼っている人を対象とした「しつけ方教室」や「飼い方教室」、子どもたちを対象とした「動物愛護教室」、校外学習の受け入れや、施設見学、動物愛護週間関連イベントなどを開催します。

また、ボランティアと連携した犬や猫の譲渡会や、人材育成のための研修会や講習会も行っています。

災害時の対策としては、災害に備えた日頃の準備と心構えを飼い主のみなさんに周知したり、動物用災害物資の備蓄も行っています。

「しっぽの森」で行っていること

犬や猫の譲渡を進めています！

新たな家族として犬や猫の迎え入れを希望する人を対象に日曜日と水曜日に譲渡前講習・譲渡会を開催しています。

正しい動物の愛護管理とは？

イベントや体験学習、しつけ方教室などを通じて、正しい飼い方を理解しましょう。命の大切さや思いやりの心を学びましょう。

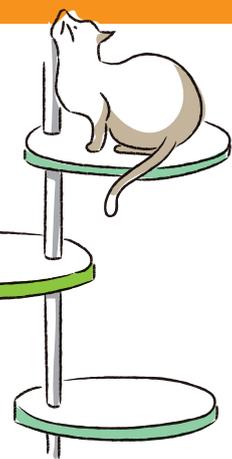
共通する感染症対策を知っていますか？

人と動物に共通する感染症の調査・研究を行い、正確な情報を発信しています。

災害時にペットはどうなりますか？

災害時の動物対策について、主に飼い主に普及啓発を行っています。動物を飼っている人は、災害時の対応も知っておきましょう。

*「しっぽの森」では、犬猫の引き取りは行っていません。



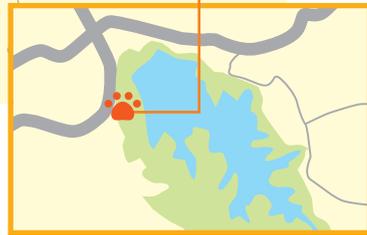
さぬき動物愛護センター しっぽの森

〒761-0446 香川県高松市東植田町1202-1
TEL.087-849-1011 / FAX.087-849-1022
Email s-doubutuaigo@pref.kagawa.lg.jp

- 開館時間** 8時30分～17時15分
- 休館日** 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日が休館)・年末年始
※その他、必要に応じて休館日を変更する場合があります。
- 駐車場** 62台(香川県公測森林公園第2駐車場と共用)
- アクセス**
 - ・JR高松駅から車で約40分
 - ・ことடன்長尾線、高田駅から車で約10分
 - ・高松中央ICから車で約20分
 - ・高松西ICから車で約25分



しっぽの森 検索





中学校 年 組

名前